

施設所管課 | 生涯学習課

1 指定管理者施設概要

施設名	名 称	上三川町立図書館		
	所在地	上三川町大字上三川5040番地		
指定管理者	名 称	株式会社 図書館流通センター		
	代表者名	代表取締役 谷一 文子		
	住 所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指 定 期 間		令和2年4月1日	～	令和7年3月31日
		5年間		

2 利用実績等

(1) 利用実績

① 利用者数

(単位:人)

[illegible]

② 利用件数

(単位:件)

[illegible]

③ 開館日数

(単位:日)

[illegible]

(2) 利用料金収入

(単位:円)

[illegible]

(3) サービス改善の状況

町の70周年記念に合わせ、図書館カードを新しく作成しました。また、今年度は特に障がい者理解の促進に力を入れ、手話や発達障がい、性の多様性について、専門家を招き、事業を展開しました。それに伴い、関連図書の利用促進にも繋がりました。このサービスの展開も来館者増加に繋がっていると考えています。

3 管理運営状況

(※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設の目的に沿った管理運営	施設効用の最大限発揮	A	施設の効用の再断言の発揮として、読書推進、生涯学習につながる事業展開をしました。	A	利用者への親切・丁寧な対応ができており、施設の目的に沿った管理運営ができています。
	施設設備・備品の適切な管理・操作	A	カウンターやその他案内で利用者とコミュニケーションを取り、アンケートで「スタッフ対応」の設問でも高評価をいただいております。	A	
	利用者とのコミュニケーション	S	施設利用向上については、町内施設、店舗に図書館だよりを配布しました。また、日産スポーツセンターと連携し、町内施設の利用促進に努めました。	S	
	利用者への案内・指導	S		S	
	施設利用向上対策の実施	S		S	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	上三川町立図書館運営規則に則り、平等な利用確保に努めました。	A	利用の許可や減免について、速やかな連絡が町に入るため、平等な利用の確保が図られている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	A	今年度も多くの方に読書相談・ファレンスサービスをご利用いただき、アンケートでも好評のコメントをいただきました。	S	利用者アンケートの結果、清掃状況・スタッフの対応について、高い水準を保っていることは高く評価できる。また、施設全体の満足度が昨年度から12.7%上昇している点も評価できる。引き続き利用者に寄り添い、誤解を招くことのないような親切・丁寧な対応をお願いしたい。
	利用者とのコミュニケーション	S	利用者アンケートだけではなく、イベントを行った際も、直接参加者に感想をインタビューし、コミュニケーションをとりました。このことで、質問紙のアンケートより具体的なご要望を伺うことができました。	S	
	ホームページの作成、更新	A	図書館の場所のお問い合わせがあることから、ホームページの利用案内のページ内にグーグルの地図を埋め込み、より分かりやすい案内にしました。	A	
	利用申込受付の工夫	A		A	
	利用者満足度調査の実施	A		A	
自主事業の実施	事業計画書において計画した事業の実施	A	事業は、計画通り実施しました。今年度は、生涯学習、障がい理解の促進になる新規事業を実施し、町外からも多数ご参加いただきました。他に小学校高学年から中学生の利用促進を目的に漫画家を講師に招き、イラスト講座を開催し、多くの方にご参加いただきました。	A	計画通りの事業展開ができています。企画展示も創意工夫することで利用者の好評が得られている。町イベントとの連携も評価できる。
	自主事業実施の効果	S		A	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	個人情報保護法などは定期的に研修を受け関係法令等の遵守に努めました。従事者の司書資格保有率は83%と高く、全ての業務に従事できる状態を保持しています。危機管理、安全対策として、感染対策アドバイザー1名、防火管理者2名、安全衛生推進者2名の体制としています。	A	職員の研修が充実していることで、職員のスキルアップにつながっている。施設規模に応じた人員配置がなされていることで、利用者へのサービスが維持でき、サービスの向上も図られている。事業報告書についても簡潔に整理・記載されている。
	仕様書に規定された職員の配置	S		S	
	利用料金の徴収	A		A	
	危機管理体制の構築	S		A	
	安全対策の実施	A	職員研修では、図書館員専門の研修に加え、クレーム対応研修も受講しました。他に認知症サポーター養成講座も全スタッフが受講済みです。	A	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	S		S	
収支状況	収入及び支出額	A	経費を調整し、蛍光灯の製造中止に伴い、LED化していない部分の照明用に買置きをしました。更に今年度も黒字を達成しました。	A	企業努力により縮減できる費目は縮減できており黒字化できている。
	管理経費の縮減策実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 読書推進活動として、企画展示に力を入れました。利用者が興味を持つようなテーマ選びから、展示場所の装飾など工夫した結果、過去最高の年間平均貸出率90%を達成できました。 自主事業の図書館イベントは年度後半に生涯学習、社会貢献に繋がる新規事業を中心に実施し、下野新聞社、かみたんメール、ORIGAMIプラザのデジタルサイネージを活用、多くの方に事業開催を知っていただき、募集人数を超える問い合わせをいただき、町外からも参加いただきました。 町の70周年記念にあわせ、吉澤章先生の作品の図書館貸出カードを新たに作成し、配布前からお問い合わせをいただきました。		〔評価すべき点〕 常に来館者に対し、親切・丁寧な対応を心掛け、かつ、利用者の意見を取り入れて検討し、対応できるものは実行できている。このような努力から指定管理者に起因する苦情が寄せられることがほぼないため、その点について高く評価できる。 企画展示及び自主事業においては利用者を飽きさせない取り組みをした点が評価できる。 また、新しく作成した貸出カードに折り紙のデザインを取り入れるなど町の施策に協力いただいた。	
	〔改善すべき点〕 3月31日で自動販売機が撤去されました。長時間滞在される利用者にご不便をかけることになりますので、自動販売機に代わる飲食提供の方法を検討していきます。 施設利用に繋がる、自主事業は、新規事業を展開するだけでなく、人気の定番事業に対して、参加者が飽きないよう、積極的に変化を付けていく必要があると考えています。		〔改善指導すべき点〕 自動販売機を撤去したことで利用者には不利益にならないような飲食提供方法を考えて欲しい。 自主事業を含む催し物に関して、18.5%の方が普通と回答していることから、時勢に対応した事業を展開していくことが今後の図書館の発展にも繋がると考えられるので、常に町と連携・協力を図りながらの取り組んでいただけたらと考える。 施設の老朽化が顕著な部分があるので、利用者へ不便をかける前に担当課へ相談いただくよう連絡を密にしていきたい。	